



新潟市口腔保健福祉センター(指定管理者 新潟市歯科医師会) <http://ii-ha.net/k-center/>

大型台風が日本に上陸し、各地で被害が生じています。  
被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。

### 口腔機能発達不全症について

口腔機能発達不全症は、小児期に食べる機能や話す機能などが十分に発達していないことをいいます。小児は成長に伴い様々な機能を獲得していきますが、機能の発達の遅れや誤った機能の獲得をしている場合には、その状態を見極めて成長を促す必要があります。そのために、以下の項目で口腔機能の発達をチェックします。

■口腔機能の発達は、離乳完了前と完了後に分けて考えます。  
チェック項目が多いので、ここでは大まかにご説明します。

#### <離乳完了前の評価>

① 食べる機能 → 哺乳の回数・量・時間、舌小帯や唇の形態、  
離乳食の進み具合  
スプーンをお口に入れたときの舌の動き

② 構音機能 → 口唇の閉鎖不全

③ 栄養状態 → 身長、体重

#### <離乳完了後の評価>

① 食べる機能 → 歯が生える時期、むし歯の有無、噛み合わせ  
嚥下するときの舌の動き、食べる量・回数

② 構音機能 → 唇が閉じ方、舌小帯の形態  
5歳以降の音の置換や歪み

③ 栄養状態 → 身長、体重

④ その他 → 口呼吸、睡眠時のいびき、舌圧 など

発達の遅れが認められる場合には、それに応じた訓練をすることにより、成長を促すような働きかけを行います。